

2001年第32週報告分

- 発生動向総覧／調査票通信／保健所通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表

感染症豆知識

- 食中毒原因物質の推移

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



(全数情報)

- ・コレラが1件報告された。エルトル小川型コレラ菌が検出されている。タイ・インドネシアでの感染が推定される。
- ・腸チフスが1件報告された。インドでの感染が推定される。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が20件報告された。前週から7件減少した。O157が19件(VT1+VT2:16件、VT1:1件、VT2:2件)、O26が1件(VT1)である。同一週や週を前後して報告された家族内感染が6家族10件に認められた。入院は3件であり、そのうちHUSが49歳女性(O157:VT1+VT2産生株)に発症したが改善が認められた。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。いずれも同性間性的接触による国内感染が推定されている。
- ・急性ウイルス性肝炎が1件報告された。A型で、貝類からの国内感染が推定されている。
- ・HIV感染症が6件報告された。無症候性キャリアが4件、AIDSが1件、その他が1件である。推定感染経路は異性間性的接触4件、同性間性的接触1件、不明1件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。推定感染地は不明である。
- ・デング熱が1件報告された。タイ・ミャンマーでの感染が推定されている。
- ・梅毒が5件報告された。無症候梅毒が4件、早期顕症梅毒が1件である。推定感染経路は異性間性的接触3件、同性間性的接触1件、両性間性的接触1件である。
- ・マラリアが1件報告された。熱帯熱マラリアでアフリカでの感染が推定される。
- ・ライム病が1件報告された。富士山での森林調査の際の感染が推定されている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

依然として咽頭結膜熱と流行性角結膜炎の報告数が多い。再び成人麻疹の報告が増加した。

(病原体情報)

- ・定点病院から搬入された検体から検出されたMSSA1株はコアグラ-ゼ型であり、菌株で搬入されたMRSA5株はコアグラ-ゼ型が4件、型が1件、溶血性レンサ球菌1株のT型はB3264であった。
- ・上気道炎、肺炎患者5名の咽頭拭い液と便からアデノウイルス2型が3件、3型が2件分離された。このうちの上気道炎患者1名は突発疹を合併しており、ヒトヘルペスウイルス6型も検出された。
- ・無菌性髄膜炎患者3名のうち、1名の患者髄液からコクサッキー-B群ウイルス6型が、他の1名の便からエコーウイルス11型が分離された。また、もう1名の髄液からは、エンテロウイルス遺伝子が検出された。
- ・中耳炎患者の咽頭拭い液および不明熱患者の便よりアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・感染性胃腸炎患者の咽頭拭い液と便よりアデノウイルス遺伝子が検出された。

(その他の情報)

今週のウイルス関連検体搬入状況は上・下気道炎が30%、胃腸炎が20%、脳・神経疾患及び発疹性疾患が各15%である。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

粕江調布

水痘 6歳女兒。3年前(平成10年11月)にワクチン接種済。軽症。
流行性耳下腺炎が依然として多い。

全数届出患者数一覧表 2001年32週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		29週	30週	31週	32週	32週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ				1	3
	細菌性赤痢	3	1	4		7
	腸チフス				1	2
	パラチフス					1
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	11	27	20	308
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢		3	1	2	4
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病			1		1
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		12	5	1	5
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			1
	後天性免疫不全症候群	3	4	6	6	11
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1		2	1	1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					1
	デング熱	1			1	
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	1	1	2	5	5
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
マラリア	1			1	1	
ライム病			1	1	1	
レジオネラ症						

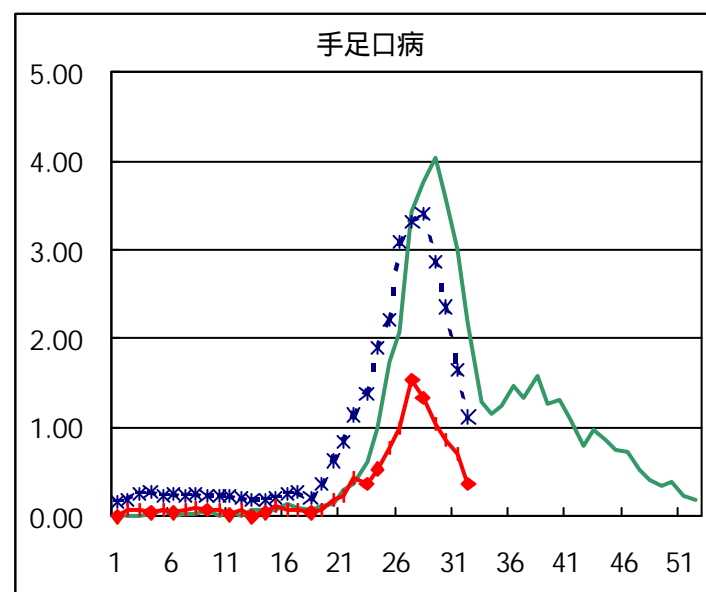
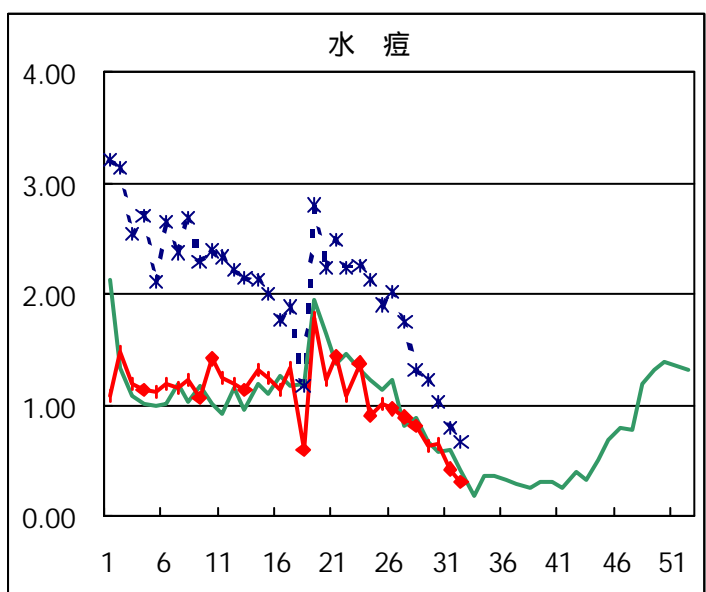
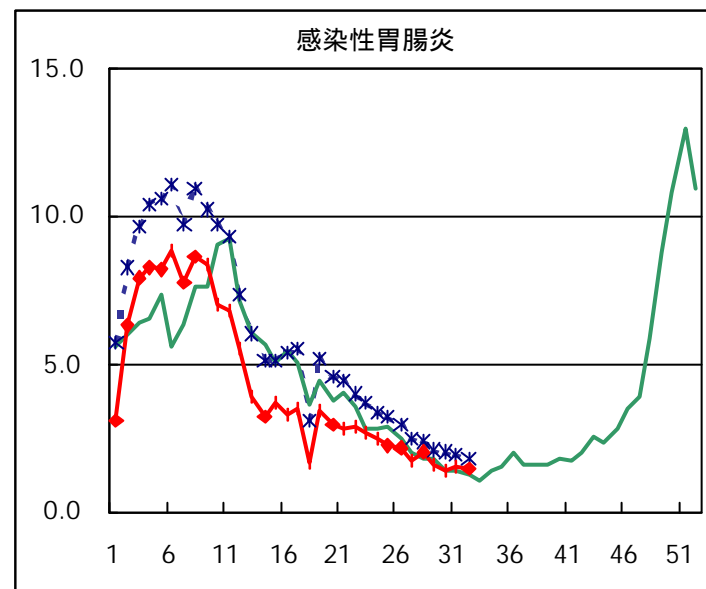
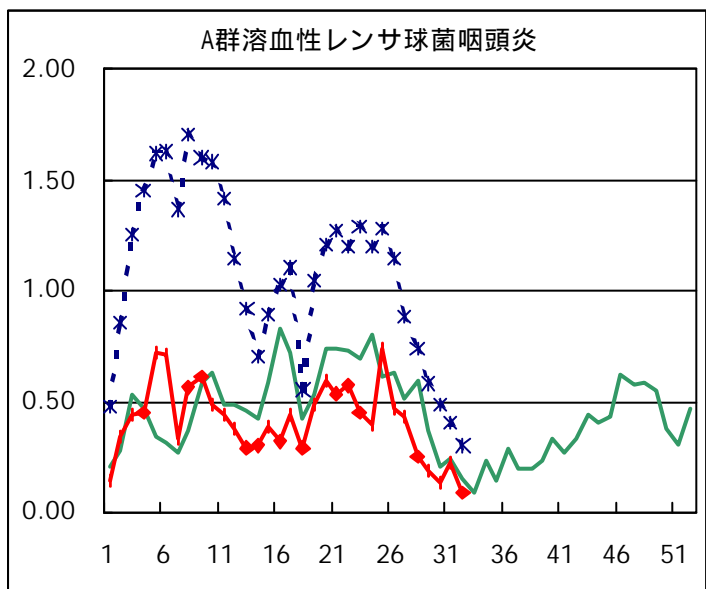
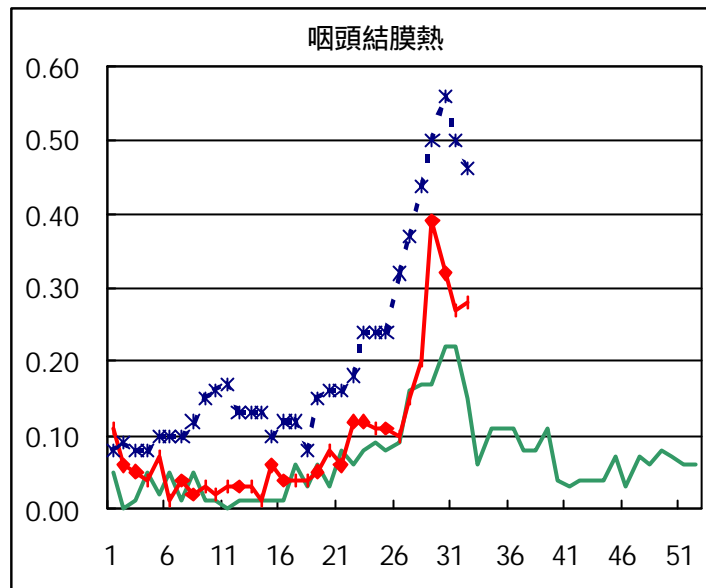
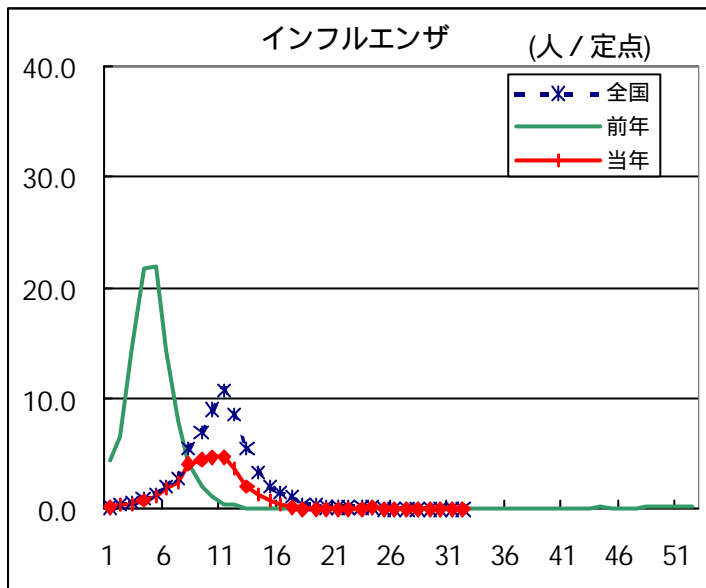
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/08/20集計)

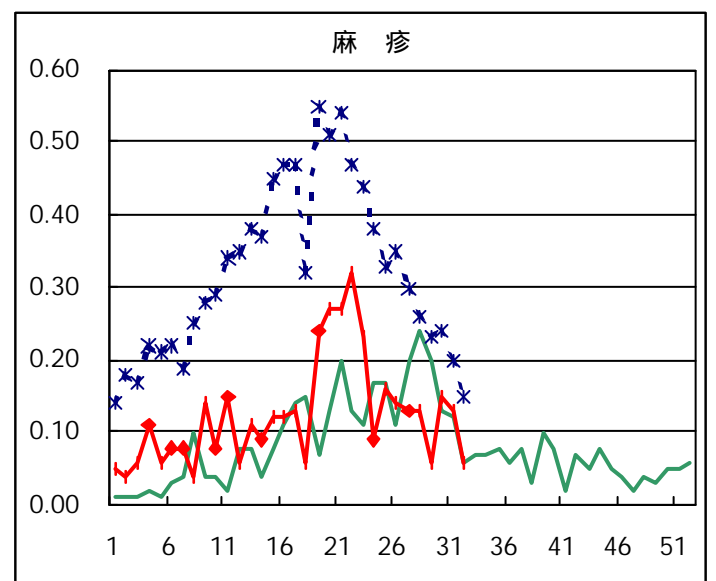
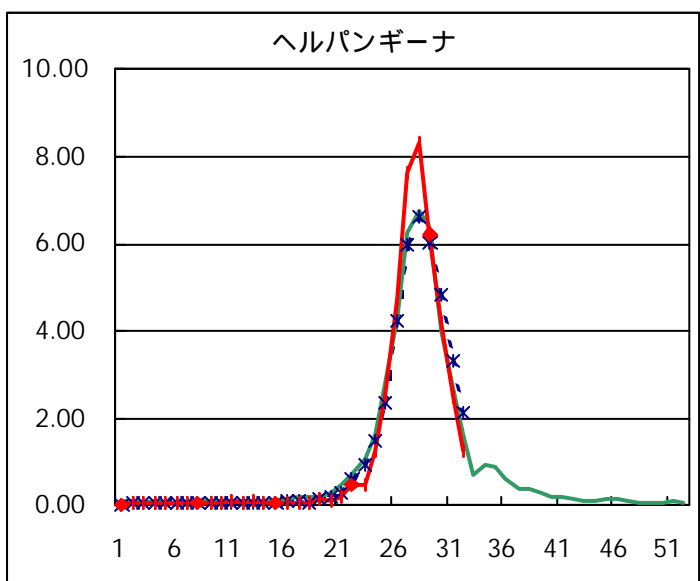
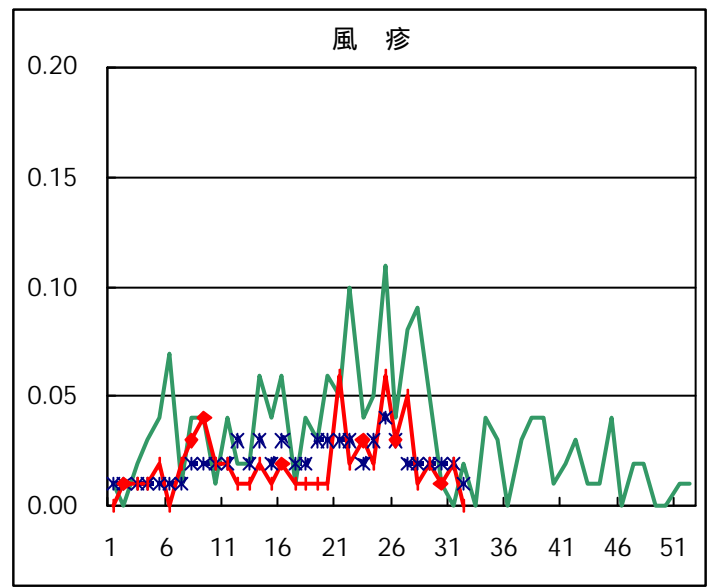
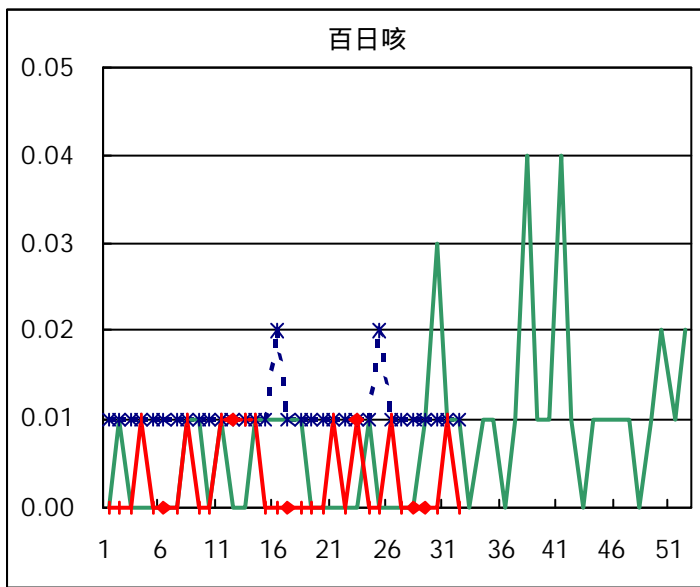
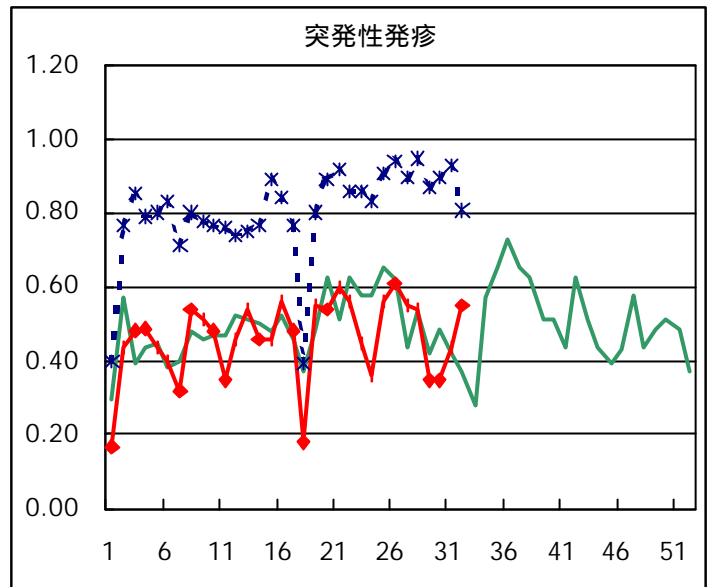
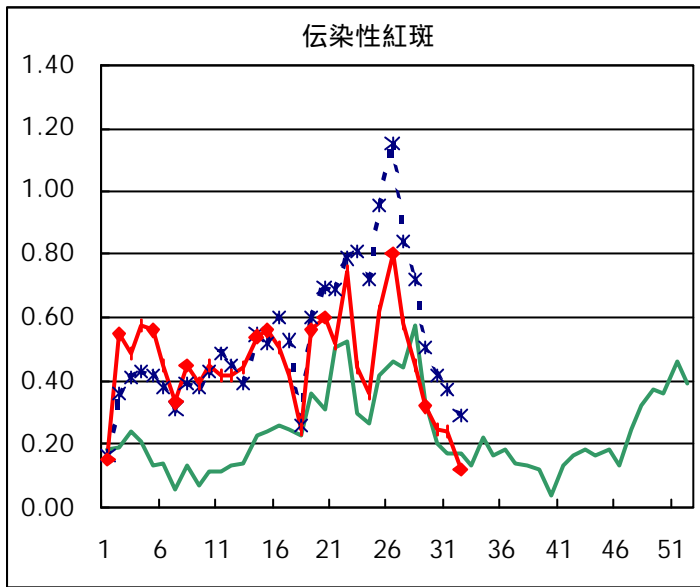
定点報告疾病集計表（男女別）

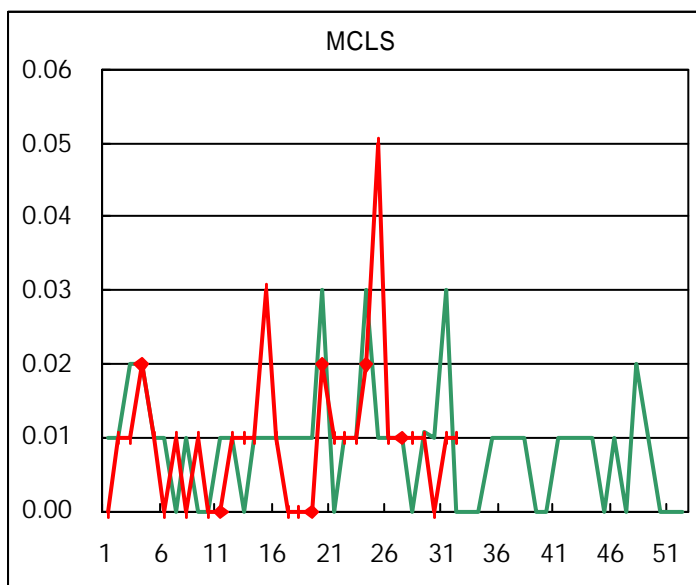
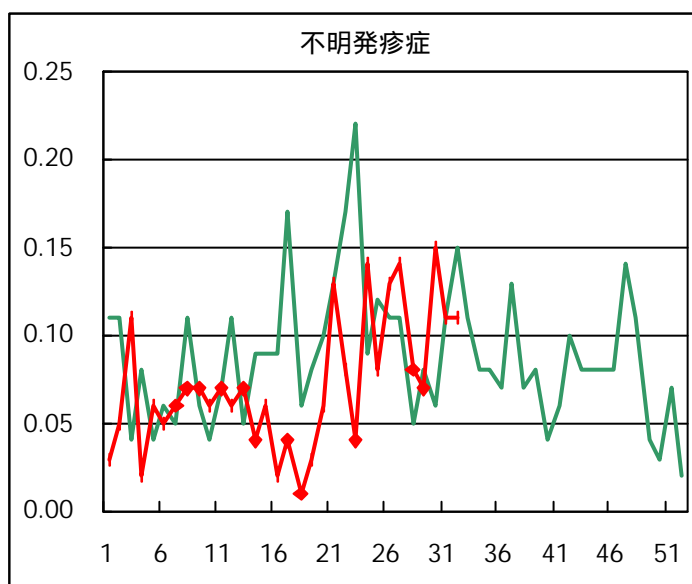
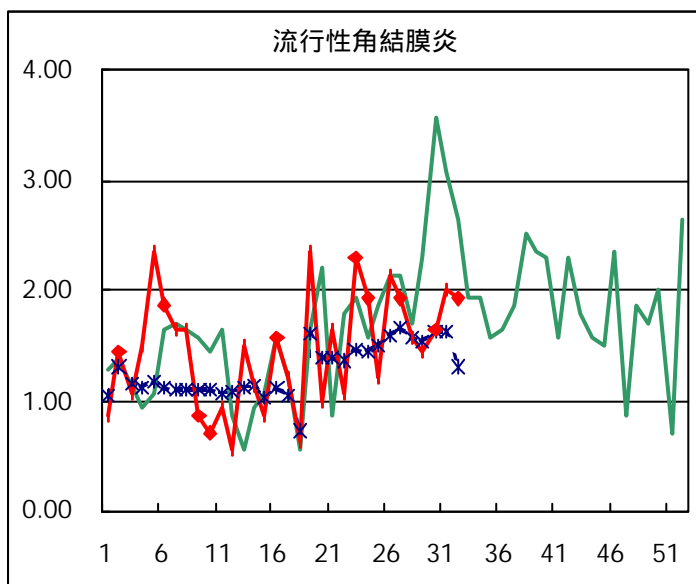
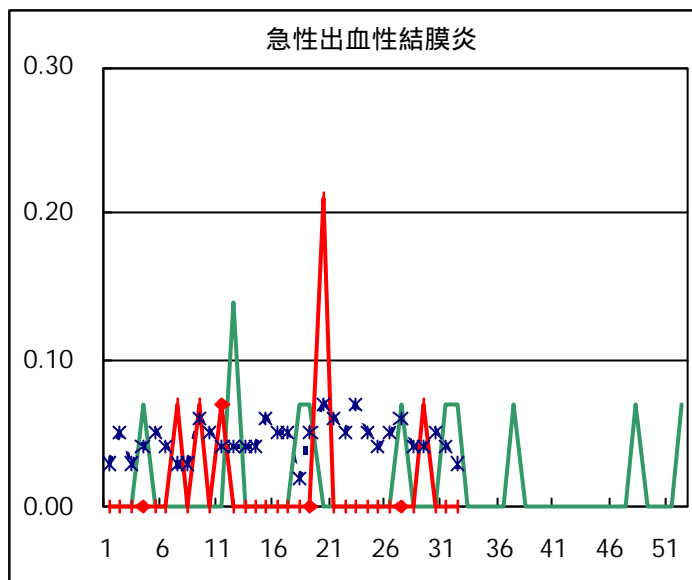
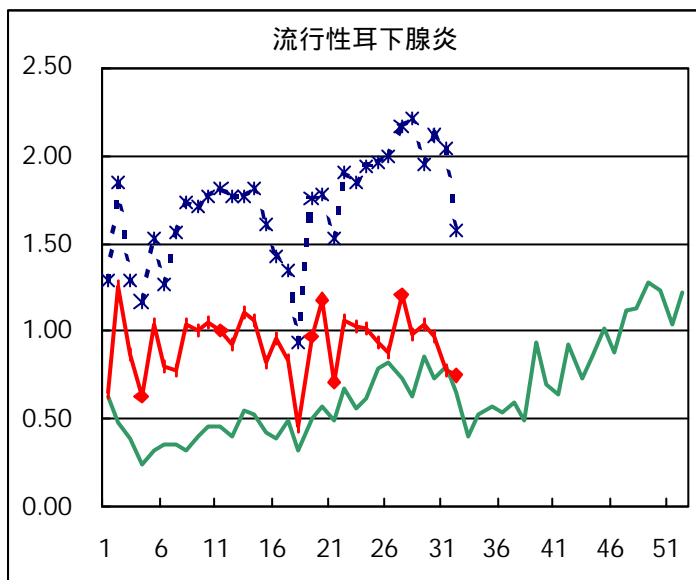
疾病名	性	2001年 週				累計
		29	30	31	32	
インフルエンザ	男		1			1
	女					
咽頭結膜熱	男	30	25	21	22	98
	女	26	21	18	18	83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	20	11	10	8	49
	女	7	8	21	4	40
感染性胃腸炎	男	120	105	120	106	451
	女	105	97	102	100	404
水痘	男	50	40	33	20	143
	女	41	53	29	33	156
手足口病	男	81	82	60	34	257
	女	70	42	40	21	173
伝染性紅斑	男	21	19	21	8	69
	女	25	17	13	9	64
突発性発疹	男	23	23	31	39	116
	女	27	26	32	41	126
百日咳	男			1		1
	女					
風疹	男	2	1			3
	女	1	1	3		5
ヘルパンギーナ	男	473	310	189	99	1071
	女	414	284	173	80	951
麻疹(成人以外)	男	5	11	11	3	30
	女	4	11	8	7	30
流行性耳下腺炎	男	81	66	57	53	257
	女	67	72	53	54	246
不明発疹症	男	4	12	6	9	31
	女	6	9	9	8	32
MCLS	男				1	1
	女	1		1		2
急性出血性結膜炎	男	1				1
	女					
流行性角結膜炎	男	13	13	18	17	61
	女	7	10	10	10	37
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男	1	1		1	3
	女					
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	5	7	1	3	16
	女	6	4		1	11

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

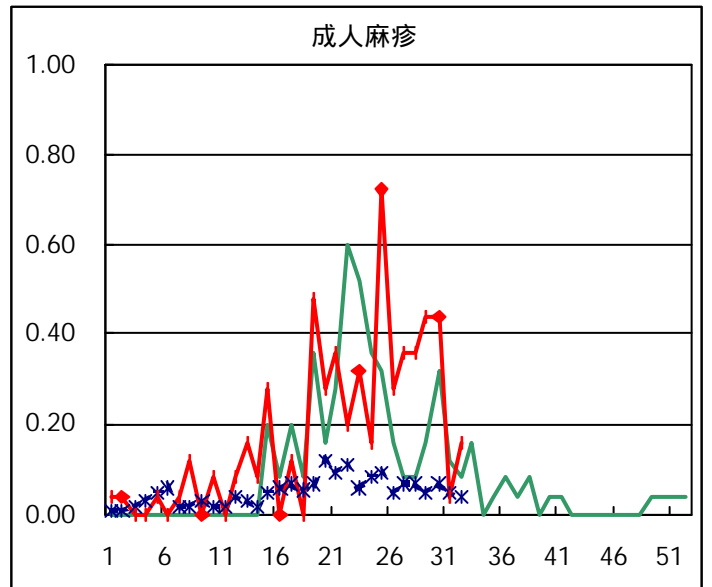
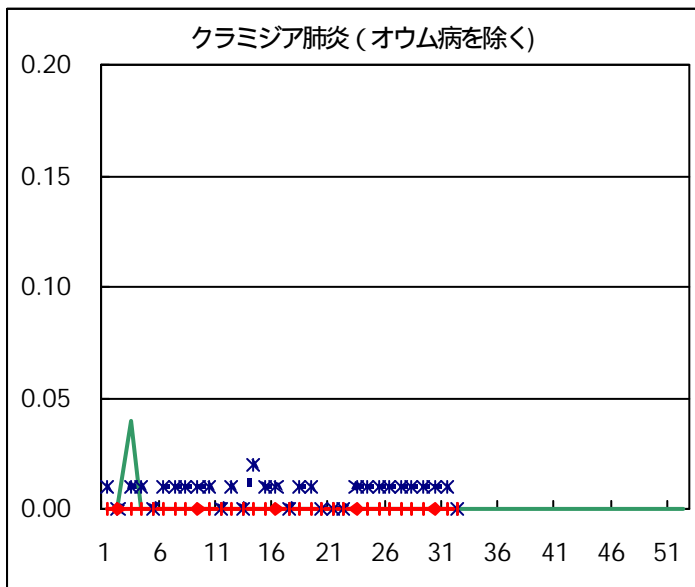
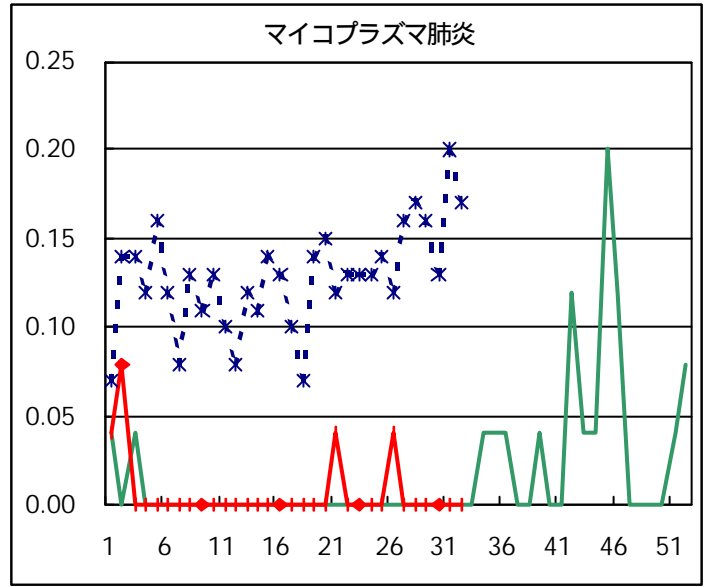
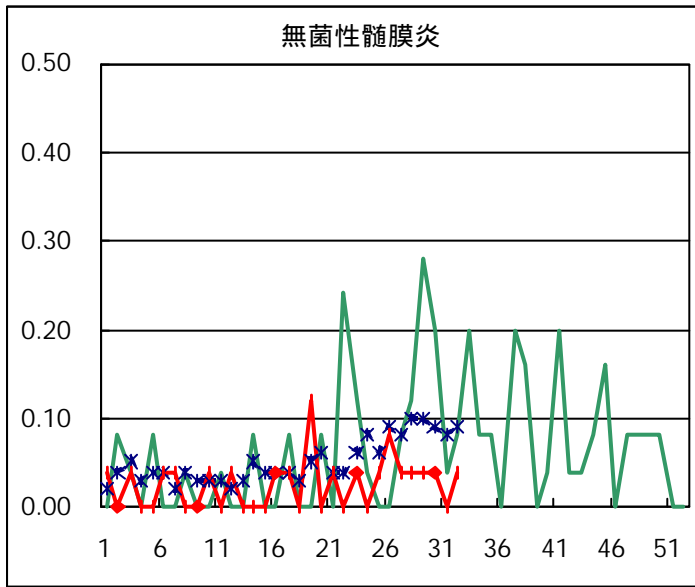
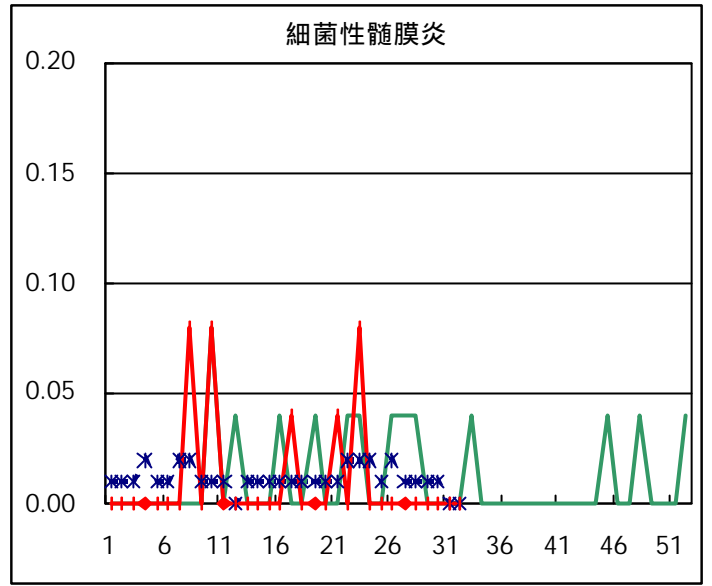
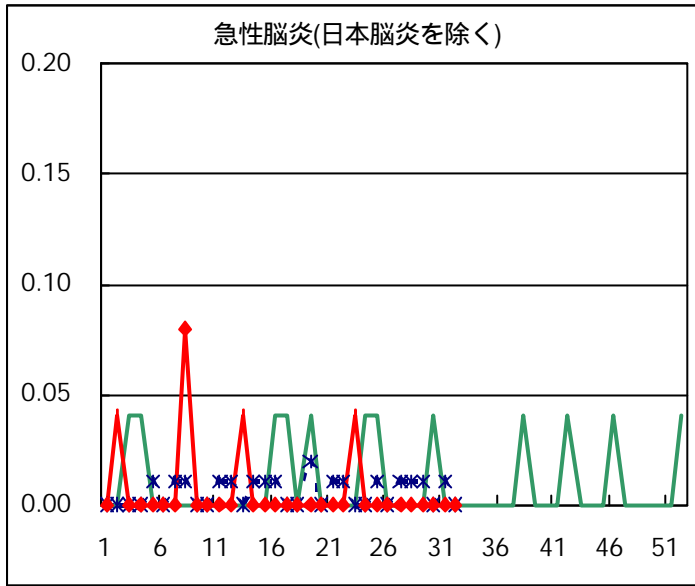
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



年齢階級別累計表 (2001年 32週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCL S
～6ヶ月				1	2	2	1	5			1					1	
～1歳		2		14	3	7	1	49			10	2				5	
1歳		4	2	35	10	14	2	26			55	1	9			2	
2歳		3		17	11	11	1				32	1	13			2	1
3歳		8	3	11	10	4	1				31	1	17		2	3	
4歳		9	1	16	6	7	5				14	1	16				
5歳		6	1	17	4	5	1				13		12				
6歳		4		15	2	1					9		8		1	1	
7歳		2	2	11		1	2				3	1	12		1	1	
8歳		1	1	9	1	1					1		5			1	
9歳		1		10	2	2	2				1		5				
10～14歳				10			1				3	1	4		2	1	
15～19歳				1							1	1	2		2		
20～29歳			2	39	2						5	1	4		7		
30～39歳															7		
40～49歳															2		
50～59歳																	
60～69歳															2		
70～79歳															1		
80歳以上																	
合計	0	40	12	206	53	55	17	80	0	0	179	10	107	0	27	17	1
先週比	0	1	-19	-16	-9	-45	-17	17	-1	-3	-183	-9	-3	0	-1	2	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年32週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央				4		5		1			8		1					19
世田谷				14		3		6			5	2	7			2		39
渋谷区		2	2	19	2	1	1	1			2		5					35
池袋						1							2					3
長崎				1							3							4
荒川				5			1	1			5				3			15
足立		4	1	7		2		2			10		2					28
葛飾		1	1	2	1	1	3	7			13		10			3		42
江戸川		2	1	5	1	2		3			2		6				1	23
台東		5	1	15	3	2	1	2			15		1					45
目黒区				2				2			1		1					6
大田区		2	1	14	5	5	1	10			18		7			2		65
杉並				5			1	2			1	2	3					14
北区		14		1	2	3	1	4			14		3			2		44
板橋区				10	1	1	1	2			4							19
みなと						8		4			3	1	3		6			25
中野区				18	2	2		2			13		6					43
新宿区			2	12	5	2		2			9	2	1		10	2		47
品川区		1	2	11	3	5		6			1		2			2		33
千代田		1						2			2	1	1					7
練馬区		2		4	7	2	2	4			7	1	6			2		37
文京				2											2			4
墨田区				4		1		1			4					1		11
江東区				10				2			2		2		2			18

保健所別累計表 (2001年32週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子		3			5			1			3		2		1			15
町田				13	4	3					7							27
島しょ				1							2							3
多摩川		1			3		4	2			6		9					25
秋川																		
南多摩				9		2		2			7		5			1		26
多摩立川			1	6	4	3		2					6					22
村山大和					1										1			2
府中小金井								1			2		2					5
狛江調布		2		5	1						1		4					13
三鷹武蔵野				1	1			1			3		2		2			10
多摩小平				2	1		1	1				1	1					7
多摩東村山				4	1	1		4			6		7					23

東京都合計	-	40	12	206	53	55	17	80	-	-	179	10	107	-	27	17	1	804
定点当り報告数	-	0.28	0.08	1.45	0.37	0.39	0.12	0.56	-	-	1.26	0.07	0.75	-	1.93	0.12	0.01	

食中毒原因物質の推移

東京都医師会感染症予防検討委員会

平成12年の全国の食中毒発生状況（速報値）は、発生件数2,247件、患者数43,307人で、平成11年を件数では下回ったが患者数では大きく増加し、減少傾向にはない。

しかし、食中毒は単純に増加している訳ではなく、食中毒菌の中には淘汰されていくものもあり、世代交代が見られる。図に示されるとおり、黄色ブドウ球菌食中毒は顕著に減少し、サルモネラ食中毒も、血清型O4（*S. typhimurium*）等によるものは減少傾向にある。

これらの食中毒の減少は、医師会や行政による長年の普及啓発や監視指導の結果であるといえよう。

旧タイプの食中毒発生が減少する一方で、O157や小型球形ウイルスあるいはサルモネラ（*S. enteritidis*）のような新興食中毒が台頭しており、これらの増加が全国的な件数増につながっている。新興食中毒菌は、いずれも極めて少菌量で感染するものばかりであり、感染を防止するためには、これまでの一般的衛生管理に加えて高度な管理技術が必要とされている。

行政・食品事業者にとって、感染症の知識、HACCPなどの広い視野に立った対応が求められる時代の到来である。

（文責：田中節夫）

